



## 平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月30日

上場取引所 大

上場会社名 テクノアルファ株式会社  
 コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

(氏名) 松村勝正  
 (氏名) 安積良典

TEL 03-3492-7421

配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	2,139	72.9	224	—	250	760.4	128	604.5
21年11月期第3四半期	1,237	—	△16	—	29	—	18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	11,324.72	—
21年11月期第3四半期	1,597.54	—

(注)1. 平成21年11月期第3四半期の前年同四半期増減率については、当社は平成21年11月期第2四半期より連結財務諸表の作成を開始したため、記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	2,056	1,483	1,483	72.1	130,343.70	
21年11月期	1,942	1,421	1,421	73.2	124,900.14	

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 1,483百万円 21年11月期 1,421百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
22年11月期	—	0.00	—		
22年11月期(予想)				4,200.00	4,200.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

## 3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,810	57.0	242	712.6	253	406.8	151	422.0	13,218.18

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】6ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
 新規 一社 (社名 )、 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期3Q	11,580株	21年11月期	11,580株
② 期末自己株式数	22年11月期3Q	200株	21年11月期	200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年11月期3Q	11,380株	21年11月期3Q	11,451株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に記載の連結業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の連結業績は、今後様々な要因により、本連結業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	5
2. その他の情報.....	6
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	6
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	6
3. 四半期連結財務諸表.....	7
(1) 四半期連結貸借対照表.....	7
(2) 四半期連結損益計算書.....	9
【第3四半期連結累計期間】.....	9
【第3四半期連結会計期間】.....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	13
(5) セグメント情報.....	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	16
4. その他.....	17
仕入、受注及び販売の状況.....	17

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、第2四半期連結会計期間より引き続き、前連結会計年度の景気停滞から一転して、自動車メーカー、その関連メーカー及び半導体メーカー等の工場の稼働率が向上し、新規の設備投資も始まる傾向にあり、大きく回復してまいりました。

その結果、第3四半期連結累計期間における売上高は2,139,426千円（前年同四半期比72.9%増）、営業利益は224,654千円（前年同四半期は16,031千円の営業損失）、経常利益は250,848千円（前年同四半期比760.4%増）、四半期純利益は128,875千円（前年同四半期比604.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①半導体装置事業

当事業においては、当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を米国より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。当第3四半期連結会計期間においては、前連結会計年度から続く顧客の工場の稼働率向上による消耗品の販売が好調でした。また、顧客の新規設備投資による半導体製造装置の販売も堅調に推移しました。

この結果、売上高は1,088,490千円（前年同四半期比81.3%増）、営業利益は258,645千円（前年同四半期比242.1%増）となりました。

#### ②電子材料・機器事業

当事業においては、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第3四半期連結会計期間においても、第2四半期連結会計期間に引き続き、顧客の業績の回復により受注面で堅調さがみられました。

この結果、売上高は670,522千円（前年同四半期比143.0%増）、営業利益は11,182千円（前年同四半期は22,173千円の営業損失）となりました。

#### ③マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。当第3四半期連結会計期間において、マリン事業では、早期に受注がなされており、売上、利益面では堅調に推移いたしました。また、環境機器事業においては、大型の案件を受注し、売り上げたため、売上、利益面で好調に推移いたしました。

この結果、売上高は372,569千円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は31,667千円（前年同四半期は10,354千円の営業損失）となりました。

#### ④その他の事業

当事業においては、上記3事業で取り扱いのない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

この結果、売上高は7,845千円（前年同四半期比65.8%減）、営業損失は1,544千円（前年同四半期

は4,565千円の営業利益)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,056,644千円(前連結会計年度末比5.9%増)となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の増加があった一方で、有価証券、商品の減少があったためであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,483,311千円(前連結会計年度末比4.4%増)となりました。これは主に、四半期純利益が計上されましたが、配当金の支払いがあったためであります。

### (自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.1%(前連結会計年度末比1.0ポイント減)となりました。

### (1株当たり純資産額)

当第3四半期連結会計期間末における1株当たり純資産額は130,343円70銭(前連結会計年度末比5,443円55銭の増加)となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、732,599千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、125,059千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益215,026千円、売上債権の増加額243,968千円、たな卸資産の減少額193,243千円、仕入債務の減少額17,296千円及び法人税等の支払額41,613千円によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,612千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出60,086千円及び保険積立金の解約による収入43,942千円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、69,985千円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出25,030千円及び配当金の支払額45,265千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

### ①連結業績予想

平成22年1月14日付決算短信に記載のとおりであります。

②個別業績予想

平成22年1月14日付決算短信に記載のとおりであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,611	404,985
受取手形	95,331	39,756
売掛金	630,236	442,108
有価証券	159,988	359,849
商品	207,293	400,537
その他	87,951	82,255
貸倒引当金	△117	△86
流動資産合計	1,813,296	1,729,405
固定資産		
有形固定資産	16,912	21,339
無形固定資産		
のれん	6,462	7,754
その他	16,593	16,719
無形固定資産合計	23,055	24,474
投資その他の資産		
その他	203,943	167,634
貸倒引当金	△562	—
投資その他の資産合計	203,380	167,634
固定資産合計	243,348	213,448
資産合計	2,056,644	1,942,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,435	255,185
短期借入金	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	25,030
未払法人税等	79,684	26,626
賞与引当金	7,207	—
その他	99,653	57,948
流動負債合計	413,981	364,790
固定負債		
退職給付引当金	3,868	2,134
役員退職慰労引当金	152,465	150,829
その他	3,017	3,736
固定負債合計	159,352	156,699
負債合計	573,333	521,489

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	119,606	119,606
利益剰余金	1,314,166	1,230,810
自己株式	△23,848	△23,848
株主資本合計	1,510,133	1,426,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,126	△3,546
繰延ヘッジ損益	△18,695	△1,867
評価・換算差額等合計	△26,822	△5,414
純資産合計	1,483,311	1,421,363
負債純資産合計	2,056,644	1,942,853



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,237,435	2,139,426
売上原価	870,276	1,471,747
売上総利益	367,159	667,678
販売費及び一般管理費	383,190	443,024
営業利益又は営業損失(△)	△16,031	224,654
営業外収益		
受取利息	3,862	8,659
受取配当金	89	1,367
有価証券売却益	2,930	—
保険返戻金	49,204	32,877
その他	15	393
営業外収益合計	56,102	43,297
営業外費用		
支払利息	810	310
投資有価証券売却損	—	285
為替差損	9,839	16,497
支払手数料	231	—
その他	35	10
営業外費用合計	10,917	17,103
経常利益	29,153	250,848
特別利益		
固定資産売却益	877	—
投資有価証券売却益	2,093	—
特別利益合計	2,971	—
特別損失		
固定資産除却損	—	54
リース解約損	—	969
役員退職慰労金	—	34,798
特別損失合計	—	35,821
税金等調整前四半期純利益	32,124	215,026
法人税、住民税及び事業税	15,024	96,022
法人税等調整額	△1,193	△9,871
法人税等合計	13,830	86,150
四半期純利益	18,294	128,875

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	671,674	750,805
売上原価	471,559	523,284
売上総利益	200,115	227,521
販売費及び一般管理費	133,864	147,303
営業利益	66,251	80,217
営業外収益		
受取利息	1,235	4,455
受取配当金	62	1,167
有価証券売却益	2,930	—
保険返戻金	—	1,576
その他	15	215
営業外収益合計	4,244	7,415
営業外費用		
支払利息	766	72
投資有価証券売却損	—	189
為替差損	15,283	23,059
その他	35	5
営業外費用合計	16,085	23,327
経常利益	54,409	64,305
特別利益		
固定資産売却益	877	—
投資有価証券売却益	2,093	—
貸倒引当金戻入額	—	1
特別利益合計	2,971	1
特別損失		
固定資産除却損	—	11
リース解約損	—	969
特別損失合計	—	980
税金等調整前四半期純利益	57,380	63,326
法人税、住民税及び事業税	14,552	30,380
法人税等調整額	△4,875	△6,543
法人税等合計	9,677	23,837
四半期純利益	47,703	39,489

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,124	215,026
減価償却費	9,316	10,274
のれん償却額	430	1,292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	674	593
受取利息及び受取配当金	△3,951	△10,026
支払利息	810	310
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,800	7,207
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△5,024	285
固定資産売却損益(△は益)	△877	—
固定資産除却損	—	54
保険戻戻金	△49,204	△32,877
為替差損益(△は益)	5,208	15,960
売上債権の増減額(△は増加)	857,286	△243,968
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,587	193,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△257,009	△17,296
未払金の増減額(△は減少)	△61,310	△5,477
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,272	29,618
退職給付引当金の増減額(△は減少)	224	1,734
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,532	1,636
その他の資産の増減額(△は増加)	17,947	△1,168
その他の負債の増減額(△は減少)	△8,766	△9,812
小計	531,353	156,609
利息及び配当金の受取額	3,746	10,381
利息の支払額	△712	△317
法人税等の支払額	△113,725	△41,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,661	125,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△150,000	△60,000
有価証券の売却による収入	100,000	60,000
信託受益権の取得による支出	△100,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△3,724
有形固定資産の売却による収入	1,596	—
無形固定資産の取得による支出	△7,410	△3,500
投資有価証券の取得による支出	△54,388	△60,086
投資有価証券の売却及び償還による収入	50,132	12,008
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	131,222	—
貸付金の回収による収入	744	265
敷金の差入による支出	△440	△320
敷金の回収による収入	970	544
保険積立金の積立による支出	—	△743
保険積立金の解約による収入	84,782	43,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	57,210	△11,612

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△93,333	△25,030
自己株式の取得による支出	△23,848	—
配当金の支払額	△45,980	△45,265
リース債務の返済による支出	△74	△689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,237	△69,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,658	△15,736
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	316,294	27,725
現金及び現金同等物の期首残高	659,360	704,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	975,654	732,599

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	半導体装置 事業 (千円)	電子材料・ 機器事業 (千円)	マリン・環 境機器事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	355,272	187,967	121,135	7,298	671,674	—	671,674
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	355,272	187,967	121,135	7,298	671,674	—	671,674
営業利益又は営業損失 (△)	94,123	△3,814	△5,222	1,365	86,452	(20,201)	66,251

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等
- (2) 電子材料・機器事業………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板
- (3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等
- (4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

	半導体装置 事業 (千円)	電子材料・ 機器事業 (千円)	マリン・環 境機器事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	327,539	250,680	172,335	250	750,805	—	750,805
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	327,539	250,680	172,335	250	750,805	—	750,805
営業利益又は営業損失 (△)	67,030	5,698	34,844	△821	106,752	(26,535)	80,217

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等
- (2) 電子材料・機器事業………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板等
- (3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等
- (4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

## 前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)

	半導体装置事業 (千円)	電子材料・機器事業 (千円)	マリン・環境機器事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	600,471	275,918	338,102	22,944	1,237,435	—	1,237,435
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	600,471	275,918	338,102	22,944	1,237,435	—	1,237,435
営業利益又は営業損失(△)	75,595	△22,173	△10,354	4,565	47,632	(63,663)	△16,031

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各区分の主な製品

- (1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等
- (2) 電子材料・機器事業……………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板
- (3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等
- (4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

## 当第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年8月31日)

	半導体装置事業 (千円)	電子材料・機器事業 (千円)	マリン・環境機器事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,088,490	670,522	372,569	7,845	2,139,426	—	2,139,426
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,088,490	670,522	372,569	7,845	2,139,426	—	2,139,426
営業利益又は営業損失(△)	258,645	11,182	31,667	△1,544	299,950	(75,296)	224,654

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各区分の主な製品

- (1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等
- (2) 電子材料・機器事業……………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板等
- (3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等
- (4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

## 【所在地別セグメント情報】

## 前第3四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 当第3四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	94,980	6,897	32,254	6,593	140,724
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	671,674
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.1	1.0	4.8	1.0	21.0

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	144,374	25,662	32,313	3,295	205,646
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	750,805
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.2	3.4	4.3	0.4	27.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、台湾、韓国、シンガポール

(2) 北米・・・アメリカ

(3) 欧州・・・ドイツ、スペイン、フィンランド、フランス、スイス

(4) 南米・・・ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	126,002	15,409	32,254	6,593	180,259
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	1,237,435
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.2	1.2	2.6	0.5	14.6

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	399,336	42,845	94,277	10,735	547,194
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	2,139,426
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.7	2.0	4.4	0.5	25.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・・・中国、台湾、韓国、シンガポール
- (2) 北米・・・アメリカ
- (3) 欧州・・・ドイツ、スペイン、フィンランド、フランス、スイス
- (4) 南米・・・ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。



4. その他の情報

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	114,107	△57.6
電子材料・機器事業	221,586	55.1
マリン・環境機器事業	101,091	1.6
その他の事業	114	△97.9
合計	436,899	△15.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	334,386	25.8	203,364	76.2
電子材料・機器事業	276,955	24.0	117,576	39.8
マリン・環境機器事業	153,861	379.2	351,915	△33.0
その他の事業	250	△95.5	—	—
合計	765,452	45.3	672,856	△7.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	327,539	△7.8
電子材料・機器事業	250,680	33.4
マリン・環境機器事業	172,335	42.3
その他の事業	250	△96.6
合計	750,805	11.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。